

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

あいなん未来会議 2016

2 取組期間

平成 28 年度

3 取組概要

未来の愛南町を担う子どもたちが、町議会のしくみなどについて、実体験を通して学び、町政に対する理解と関心を深める。併せて、子どもたちの提言や意見を町政に反映させることを目的にあいなん未来議会を開催する。

4 背景・目的

新庁舎の完成を機に、愛南町の将来を担う中高生たちから自分たちの町の将来や教育環境など愛南町に住みたくなる町にするためにそれぞれの視点による意見や提言をいただくことを目的に開催した。

5 取組の具体的内容

事前に町内の5つの中学校と南宇和高校に、未来議会の趣旨を説明し議長1名（南宇和高校生）、議員16名（中学生12名、高校生4名）を選出していただき、議会で質問する質問書の提出を依頼する。

選出された生徒に質問書を提出していただき、担当課が回答書の準備を行う。

議会当日は、議長に高校生、議員席に中高生が座り、町長以下、町議会に出席する課長が行政側に座り議会の答弁を行う。なお、傍聴席には町議会議員が参加し傍聴した。



一般質問の様子



町長答弁の様子

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

本来は、議会でしか使用しない議場を使用することで、中高生にも議会の緊張感を体験してもらうことが出来、CATVで放送することで町民へも広く周知することができた。

7 取組の効果・費用

中高生に、議会の知識と関心を、そして愛南町を深く考える機会となったことが最大の効果だと思われる。

また、今回の生徒からの質問の中にあつたもののうち、実際に実施した事例もあることからただのイベントにならず、意義のあるものとなった。

取り組みに要した経費は、生徒への謝礼品用消耗品費のみで、多額の費用は必要としない。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

大きな問題点は認められない。生徒のスケジュールを考慮し夏休みでの実施に限定されることぐらいである。

9 今後の予定・構想

今後も、愛南町の未来を担う生徒たちが町を真剣に考える場となるように定期的の実施する。また、子供から高齢者まで広い世代での実施を検討したい。

10 他団体へのアドバイス

子供たちが町について真剣に考えるいい機会になると思います。学校と議会の協力を得られれば、さほど労力と経費を要しないで実施できます。

11 取組について記載したホームページ